

2015.10.22

8.20 広島八木災害報告（第 46 報）

国土交通省は、8.20 災害で最も被害の大きかった、八木 3 丁目の県営住宅の裏の阿部山の中腹に砂防ダムを建設中です。砂防ダムの管理、維持のための道路を新設しなければいけないことになりました。昔、地元の人たちは、“雨乞山（あまごいさん）” といっていた山です。そこを崩して管理道路を作るわけです。“雨乞山” の中腹に、桑原家の墓地があります。その墓地は、180 年前に建設されて、広く太田川を見渡せる景勝の地でした。春になると、“花見” と称してお弁当をもって、桜見物にいった懐かしい場所です。今回、国土建設省から、その墓地の立ち退きの問い合わせがありました。僅か 36 m²の小さな墓地ですけれども、幼少時からお参りに通っていた懐かしいところです。

去年の 8.20 災害で荒れ果てた自宅の庭を、庭師さんに手伝ってもらって、手入れをしております。毎年よく咲いていた金木犀の大木、秋になると色鮮やかな紅葉の大木、塀代わりにしている棒櫟、春先に良く花をつけた紅梅、残念ながら、伐採しなければなりません。

2015.10.22.11 時

桑原医院 桑原正彦